快適環境で研修を!

㈱経営開発研修センター

三先1丁目6-13 ☎6574・5701

港のまじめ 企業

〈上〉

「とにかく利益を!」「とにかく勝ち残れ!」と非情・不毛の競争がエスカレートする現代社会。その中で「まずは世のため地域のため。利益はその結果」と経済活動本来の姿勢を崩さない誠実企業を紹介するシリーズ。第一回は、企業の泊り込み研修などに利用され、その名もズバリの「経営開発研修センター」。「快適な環境で実のある研修を」とひたすら地味な努力を続けてきたその足跡を辿り、今後の展望を探ります。

「快適な環境で実のある研修を」と温かなサービスを心がける経営開発研修センターのスタッフ＝玄関前で

―ということでやって来ました同センター。港南中学校の真向かいに位置し、花と緑に囲まれた清潔感ある外観が印象的です。経営の中心を担う水口邦夫社長(六四)と仲田英一支配人(六二)に話を訊きました。

◆大阪造船所の子会社

お二人によると、同センターは㈱大阪造船所（港区福崎、昭和十一年創立）の子会社として昭和四十八年に設立されました。戦後経済の浮き沈みを経て経営の合理化・効率化が叫ばれるようになった頃で、大阪造船所でも社外施設を借りて勉強会をしていましたが、「自前の研修施設を」「どうせ造るなら外部からの利用も可能に」というのがその動機でした。いわば戦後日本経済の変遷の中で生まれるべくして生まれた施設でした。そこから、「快適な環境で実のある従業員研修ができる施設に」「地元経済への貢献を通じて日本経済に貢献しよう」というのが創業理念となりました。

世のため地域のため

創業の理念守り続けて37年

◆レストランとしても

以来、一貫して企業の研修施設として運営されてきましたが、平成十九年に宿泊業許可を取得したことでビジネスホテルとしても利用可能となり、今年一月からは昼食レストランとしても人気を集めています。

また最近、広々とした中庭が港区の穴場として注目され始め、地元の府議は政局報告会に、子供会は野外パーティーにと、この中庭を使うことがお気に入りになっているそうです。

とはいえ平成不況で企業利用が伸び悩んでいるのも事実。そんな中、高校野球の宿舎になっているホテルからヒントを得て高校総体出場校の利用を働きかけたり、あるホテルとは「宿泊客が溢れた時は紹介し合おう」と提携するなど、販路拡大へ様々な工夫も重ねています。

◆美味しさに自信あり

五階建の建物の中には会議室が五室（七十二名用、四十五名用、十六名用、二十四名用、十名用）、バス・トイレ・テレビ付きの個室が五十あり、料金は一泊朝食付きで五千円。スタッフは全員が女性です。

サービスでは「かゆい所に手が届く」をモットーに、「指摘したら次には必ず直ってる!」と感心されるほど、利用者の声を採り入れることにも熱心です。

中でもスタッフが自信を持っているのが食事の美味しさ。調理に当たっては「材料費でチャラになってもえから栄養のあるものを美味しく」と心がけているそうですが、今どきそんなことが可能なのは、この施設がもともと儲けを目的とせず、「地元企業がスキルアップすれば日本の発展にもなる」との理念で創業されたからということでした。

それに、これは特に意識しているわけではないようですが、スタッフの中心が四十～六十代の〝おばちゃん〟ということで、利用者が家庭的な雰囲気を感じられるのも魅力の一つになっているようです。

では、こうしたサービスを利用者はどう受け止めているのでしょう。（つづく）

花と緑に囲まれ、清潔感に溢れた建物外観

「落ち着いて研修に集中できる」と好評の会議室

金星は夏の思い出

三先小で「星を見る会」

三先小学校と同PTAと地域の人々による夏の恒例行事「星を見る会」が今年も八月二十八日夜、同校校庭で開催されました。二十八回目。同校児童（四百三十人）の大半と地域の人々ら合わせて数百人が天体観測や夜店を楽しみながら、ゆく夏を惜しみました。

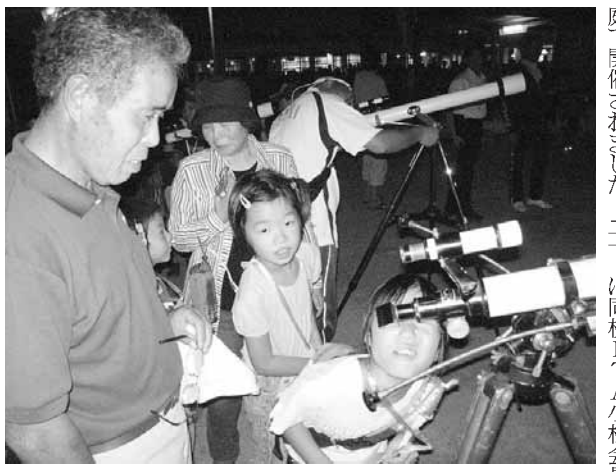
★地域一体の取り組み

開会式で山田良則校長は「小惑星イトカワの探査を終えた『はやぶさ』が七年ぶりに地球へ帰還しましたが、大気圏で燃え尽きました。そんな宇宙のドラマにも思いを馳せ、感謝の気持ちで星を見ましょう」と語りかけ、第一回目から天体観測の指導をしている高橋正幸さん(六八)は、①今夜はまず西の空に金星が見える②二時間ほど経つと東の空に木星が現われる③来年は土星の輪が見える―などと星にまつわる話を披露。他に同校PTA小松会長、三先地区社会福祉協議会笠谷会長、高橋市議、港区役所地域担当小路課長らがあいさつに立ち、三先の夏の風物詩ともいえるこの行事が地域一体の取り組みであることを強調しました。

◆天体望遠鏡に列

子供たちは校庭の夜店でフランクフルトなどをふるまってもらい、ゲームコーナーで的当てなどを楽しんだあと、七時すぎから天体観測へ。この夜は空が晴れ、お目当ての金星の右半分（反射望遠鏡のため実際は左半分）がはっきり見えました。七台の天体望遠鏡に列をなした子供たちは、青少年指導員らから「動かしたらあかんで」などとアドバイスを受け、小さい子は抱き上げてもらったりしながら、次々と覗いては、「見えた～」などと歓声を上げていました。

子連れで会場を回っていた賀本妙美さんと藤谷和代さんは「初めて参加しましたが、人出の多さにびっくり。内容も楽しく、勉強にもなるいい催しですね。地域の協力で続いていることにも感心しました」。賀本さんの娘の芽依ちゃん（三年）、藤谷さんの娘の茉由ちゃん(三年)、華暖ちゃん(一年)は「金星きれいやった!」などと興奮状態でした。



「あ、金星見えた～」。地域の人々の手助けで次々と天体望遠鏡をのぞく子供たち

地域短信

■「大阪マラソンを港区へ」賛同署名1万超す

「大阪マラソンのコースに港区を組み入れて」という運動が高まりを見せ、区民からの賛同署名が八月末で一万筆を超えた。「大阪マラソン」とは大阪府の橋下知事が「地域経済の起爆剤に」と提唱する市民フルマラソン大会で、開催予定時期は来年十～十一月。運動の中心となっているのは区民参加のスポーツイベントなどを毎年開催している筋肉商店街実行委員会（小嶋幸造委員長）。同会の働きかけで港区地域振興会連合会や港区商店会連盟などが賛同団体になっている。今後のコース決定に向け、区民の一割を超える賛同署名は誘致の大きな力になると思われる。☎六五八三―〇三二六 実行委員会事務局。

融資・国保のことなら…1人で悩まず
港民主商工会
労働保険は事務組合へ
港区夕凪2-10-16 ☎6572-7867

働く仲間の相談所
倒産、解雇、賃金不払い、条件切下げなど何でも
無料
困ってませんか?
港合同（南市岡3-6-26）☎6583-4858

次世代に戦争体験等を伝えよう
お話をききとり、冊子にしてお渡しします。
400字（原稿用紙1枚）で千円が標準料金です。
田中3-3-3 飯田編集事務所 ☎6571-4636

希望の土地に注文住宅を。
今ある家を新しく建て替えたい。
リフォームで快適な住環境に。
住まいに関することなら何でもお気軽にご相談ください。
注文住宅・リフォーム
株式会社　興洋住宅
港区三先1-11-2 TEL6571-8022
http://www.koyo-housing.com
建設業許可 大阪府知事（般-18）第104617号

レンタカー
会員制レンタル（会費0円）
★1,995円（3時間）より★
取扱車種 乗用車・軽トラック・ライトバン ステーションW・8人乗りW・他
〔会員制レンタル〕カーシェア タニムラ
http://carshartanimura.is-mine.net/
弁天4-10-26 ☎6571-2355 受付:平日8:30～18:00